

宮津市教育委員会の所管する事務事業の管理及び

執行の状況の点検及び評価に関する報告書

(令和6年度実施事業)

宮津市教育委員会

教育委員会の活動状況

1 教育委員について

宮津市教育委員会委員

役職名	氏名
教育長	山本 雅弘
教育長職務代理者	伊藤 正
委員	田崎 浩二
委員	尾崎 里花子
委員	藤井 陽子

2 教育委員会会議の開催状況

会議は、毎月1回開催、また、臨時会は必要に応じて開催し、実績として定例会は12回、臨時会は2回実施し、教育行政に関する重要事項等を審議した。

【4月定例会】

教育長の報告

(報告)

報告第3号 専決処分の承認を求めることについて

報告第4号 令和6年度教育課程編成表及び校務分掌表(幼稚園・小学校・中学校)について

報告第5号 宮津市立幼稚園・小学校・中学校の園児児童生徒数について

報告第6号 宮津市公民館条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の公布について

報告第7号 宮津市指定文化財の指定に係る文化財保護審議会への諮問について

【5月定例会】

教育長の報告

(議事)

議第24号 令和6年度宮津市一般会計補正予算(第2号)(教育委員会関係分)について

(報告)

報告第8号 専決処分の承認を求めることについて

報告第9号 宮津市議会6月議会全員協議会への報告について(旧養老小学校学校再編後の経過)

報告第10号 宮津市スクールバス緊急対応マニュアル(Ver.1)の策定について

【6月定例会】

教育長の報告

(議事)

議第25号 宮津市文化財の指定について

(報告)

報告第11号 専決処分の承認を求めることについて

報告第 12 号 専決処分の報告について

【7月定例会】

教育長の報告

(議事)

議第 26 号 委員会及び学校その他の教育機関の職員（府費負担教職員を除く。）で、臨時的任用及び会計年度任用職員の任免について

【8月定例会】

教育長の報告

(議事)

議第 27 号 令和 7 年度宮津市立小学校使用教科用図書の採択について

議第 28 号 令和 7 年度宮津市立中学校使用教科用図書の採択について

議第 29 号 令和 5 年度宮津市一般会計歳入歳出決算（教育委員会関係分）について

議第 30 号 令和 6 年度宮津市一般会計補正予算（第 5 号）（教育委員会関係分）について

(報告)

報告第 13 号 専決処分の報告について

【9月定例会】

教育長の報告

(報告)

報告第 14 号 専決処分の報告について

【10月定例会】

教育長の報告

(報告)

報告第 15 号 専決処分の報告について

【11月定例会】

教育長の報告

(議事)

議第 31 号 宮津市教育委員会事務事業点検評価について

【12月定例会】

教育長の報告

(議事)

議第 32 号 令和 7 年度事務局及び学校その他の教育機関の職員（府費負担教職員を除く。）の定期人事異動方針について

【1月定例会】

教育長の報告

(報告)

報告第 1 号 宮津市文化財保存活用地域計画推進協議会設置要綱の制定について

【2月定例会】

教育長の報告

(議事)

議第 2 号 宮津市学校給食費徴収条例の一部改正について

議第 3 号 令和 6 年度宮津市一般会計予算 (第 12 号) (教育委員会関係分) について

議第 4 号 令和 7 年度宮津市一般会計予算 (第 1 号) (教育委員会関係分) について

【2 月臨時会】

(議事)

議第 5 号 宮津市立小中学校の校長及び教頭の任免内申について

【3 月臨時会】

(議事)

議第 6 号 宮津市立小中学校の教職員 (一般職) の任免内申について

【3 月定例会】

教育長の報告

(議事)

議第 7 号 宮津市教育委員会事務局事務分掌規程の一部改正について

議第 8 号 宮津市学校給食費徴収条例施行規則の一部改正について

議第 9 号 議第 19 号 宮津市教育委員会事務局及び教育機関職員の任免について

議第 10 号 公民館職員の任免について

議第 11 号 令和 7 年度宮津市教育の重点について

議第 12 号 宮津市地域学校協働活動推進員の委嘱について

(報告)

報告第 1 号 専決処分の報告について

3 総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 4 第 1 項の規定に基づき、市長と教育委員会が教育行政に関する意見交換等を行う宮津市総合教育会議を開催した。

日 時 令和 7 年 1 月 24 日 (金) 午後 2 時

議 事 (1) 教育振興基本計画の進捗状況と今後の重点

(2) 子どもたちの多様な学びの場の実現に向けて

(3) 次期宮津市教育大綱・教育振興基本計画策定に向けて

4 教育委員会の活動状況

教育委員の責務は、市教育行政における重要事項や基本方針を決定するなど、市の教育行政全般にわたることから、教育委員会会議を定期的又は必要に応じ開催したほか、教育委員会会議以外の対象となる事項は、別途、研究協議会を開催し、教育委員の共通理解を図った。

市内幼稚園 2 園、小学校 5 校、中学校 3 校、高等学校 3 校の入学式・卒業式等の式典出席のほか、運動会や体育祭などの各種行催事に参加するとともに、学校関係者との意見交換を行い、教育現場の実態把握や情報収集に努めた。

また、宮津市二十歳のつどい、中学生の主張大会等教育委員会主催事業のほか、宮津市人権市

民のつどい等の各種行事に参加した。研修会等については、積極的に参加し、他自治体の教育委員会との意見交換や交流を行った。

宮津市教育振興基本計画の進捗状況と今後の重点

■ 継続 □ 新規・充実

基本方針	施策の体系	主な目標指標			R6の主要な取組	R7の重点方針	
		目標指標	(実績) R1	(実績) R6			(目標値) R7
推進 【基本方針1】心豊かで生きがいのある人生を創造する学びの	1 生涯にわたる多様な学習機会の拡充	公民館の利用者数	4.3万人	3.1万人	4.7万人	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中央公民館、各地区公民館事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・文化講座、健康づくり、スポーツ大会、文化祭など ・参加者数 10,673人(前年度比10.3%増) ■ 社会教育活用施設(上宮津、由良、養老、日ヶ谷の4地区) <ul style="list-style-type: none"> ・利用延日数 合計2,194日 ■ すこやか大学講座の実施 学生310人 <ul style="list-style-type: none"> ・8講座開催、クラブ活動の実施 ■ 市立図書館の管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ・地域高校連携事業、市内中学校連携事業 ・インターネット予約等の機能の整備 ■ 「はまなす文庫」(移動図書館車)の運行 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民の身近な学習拠点である中央公民館及び各地区公民館活動の充実と社会教育施設の積極的な活用を図るとともに、連携を深めながら市民の学習ニーズや地域課題解決型学習、健康づくりなど多様な体験活動や学習ニーズに対応する学習習慣の定着を促進する。 ■ 放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を確保するため、日置小学校区において、「放課後見守り活動」を、保護者、地域の参画を得て実施する。 ■ 宮津市立図書館基本的運営方針に掲げる「学びと育ちを支える図書館」「市民に役立つ図書館」「出会いのある図書館」「市民が利用しやすい図書館」の4つの基本目標の実現に向けて図書館運営を行う。 ■ 移動図書館車による地域、学校等への訪問や地区公民館(図書室)の活用を通じ、市民が図書に親しむ機会を充実するとともに、中高生向けの推薦図書リストの活用や中高生の選書図書コーナーの設置等により、中高生の読書活動を推進する。
	市民一人当たりの図書の貸出冊数	9.4冊	7.0冊	12冊			
	2 人権教育・啓発の推進	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人権教育講座の実施、企業人権教育推進協議会への支援 ■ 人権問題研修会の開催 2回/年 参加者143名 ■ 人権啓発カレンダーの作成 ■ 聴覚障害者成人講座 1回 参加者14名 ■ 障害者青年学級の開催 49回/年 学級生149名 	<ul style="list-style-type: none"> ■ インターネット社会の中で多様化・複雑化する人権問題等についての理解と認識を深めるため、人権問題研修会等を開催する。 ■ 市民を対象とした人権に関する多様な学習活動を推進するとともに、学校、家庭、地域、企業及び関係諸機関・団体と連携・協働した取組を促進する。 ■ 地域の実情に応じた人権教育を推進するために社会教育関係職員及び社会教育関係団体指導者の資質の向上を図る。
	3 家庭や地域の教育力の向上	地域学校協働活動の実施数	-	121回	100回		
4 ふるさとみやづ学の構築	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ■ 青少年問題協議会研修会 参加者60名 ■ 青少年健全育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・子どものびのび体験活動 119回/年 参加者 2,510名(放課後見守り、けん玉大会、陶芸、料理教室等) ・小学生自然科学講座(大手川探検) 参加者 25名 ・わくわく星座教室 参加者7名 ■ 地域学校協働活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動、学校支援ボランティア 121事業 ・実施回数 840回 参加者 4,998人 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもの健全育成に向けて、PTA・保護者や青少年問題協議会などと連携し、地域社会全体で子どもを包み込み育む環境づくりを推進する。 □ 地域と学校の効果的な連携・協働を目指し、宮津市地域学校協働本部とともに、地域学校協働活動推進員を配置し、宮津ならではの地域学校協働活動を推進する。併せて、令和8年度からの放課後子ども教室の宮津市全域一斉スタートに向けて、地域学校協働活動推進員と連携・協力しながら、放課後子ども教室の年間計画を策定する。 	
-	-	-	-	-			<ul style="list-style-type: none"> ■ 各地区公民館での「ふるさとみやづ学講座」26講座 延べ2,354人参加 ■ すこやか大学講座 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史訪問の開催 参加者24名 ■ 二十歳のつどい 参加者103名 出席率76.9% □ 高校・大学・地域連携推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・高校大学連携コーディネーター配置 1名 ・高校地域連携コーディネーター配置 1名 ・宮津市内高等学校・宮津市連携推進会議の開催 1回

宮津市教育振興基本計画の進捗状況と今後の重点

■ 継続 □ 新規・充実

基本方針	施策の体系	主な目標指標				R6の主要な取組	R7の重点方針
		目標指標	(実績) R1	(実績) R6	(目標値) R7		
【基本方針2】明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成	1 質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実 ・就学前教育・保育の充実	入園児数	48人	23人	—	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園給食の実施 ■幼稚園の体制強化 ■保幼小接続カリキュラムによる「幼児期の終わりまでに育てたい10の姿」を意識した幼児教育の実践 ■幼稚園給食を通じた食育の充実 ■幼稚園ひろばの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園給食の実施 ■幼稚園の体制強化 ■保幼小接続カリキュラムによる「幼児期の終わりまでに育てたい10の姿」を意識した幼児教育の実践 ■幼稚園給食を通じた食育の充実 ■幼稚園ひろばの実施
		預かり保育	2,143人日	2,437人日	—		
		市立幼稚園の空調整備	77.3%	77.3%	100%		
		市立幼稚園トイレの洋式化	100%	100%	100%		
		幼稚園ひろばの実施	2園	2園	2園		
	・質の高い学力の充実・向上	全国学力・学習状況調査における教科(算数・数学)に関する調査の平均正答率	小6: 62.0 全国平均 66.6 府平均 68.0 中3: 62.0 全国平均 59.8 府平均 61.0	小6: 64.0 全国平均 63.4 府平均 67.0 中3: 53.0 全国平均 52.5 府平均 53.0	常に全国平均と京都府平均以上	<ul style="list-style-type: none"> ■キャリア教育、「ふるさとみやづ学」の実施 ■全国学力テストの結果分析及び教育活動改善検討 ■国際理解教育(AET派遣) ■学力向上に向けての指導力向上対策／宮津市学力向上プランの推進 ・英語検定、漢字検定の全員受検(受検者への全額補助制度) ・算数及び定着サポーターの配置による算数・数学の指導力向上 ・小学校英語教科化の実施(専科教員配置、小学校教諭の英語指導力向上等) ■小中一貫教育推進基本計画に基づく取組推進 ・栗田学院・宮津学院の本格実施 ・3小学校連携事業の実施 ・市民啓発の推進、R6宮津市教育フォーラムの実施 ■教科・領域等カリキュラムに基づく認知・非認知を一体的に育む教科指導等の実践 □コミュニケーション教育の推進 ・年3回のワークショップ型・双方向型のアクティブラーニング(対象: 宮小6年生、宮中1年生) ■ICT機器を活用した授業の推進 □宮津市学びの深化プロジェクトの実施 □宮津市学びの深化プロジェクト研究実践校(吉津小)の指定 □Team GALAPAGOSの主体的な実践研究、成果の波及 □宮津市学びの深化ラボの活用(吉津小) ■プログラミング教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■学力向上に向けての指導力向上対策／低学力対策 □学びの深化プロジェクトの具体的実践の創出・増強 □学びの深化プロジェクト研究実践校の成果波及の推進 □宮津市学びの深化プロジェクトサポート訪問による学校支援の強化 □Team GALAPAGOS(主体的な研修・実践研究チーム)の充実と成果波及 □宮津の新たな教育の指標作成及び園・小中学校、児童生徒の実態調査の実施 ■キャリア教育、「ふるさとみやづ学」の実施 ■小中一貫教育推進基本計画に基づく取組推進 ・宮津学院、栗田学院、3小学校連携事業の取組推進 ・市民啓発の推進(宮津市教育フォーラム) ※学力向上対策の強化 ・英語検定、漢字検定の全員受検(受検者への全額補助制度) ・算数まなび定着サポーターによる算数・数学の基礎学力向上 ・小学校英語教科化の実施(小学校教諭の英語指導力向上等) ・中学校選択英語の実施(英語でのコミュニケーション力の向上) ■教科・領域等カリキュラムに基づく教科指導等の実践と検証 □コミュニケーション教育の推進 ・年3回のワークショップ型・双方向型のアクティブラーニング(対象: 宮小6年生、宮中1年生、3小連携) ■プログラミング教育の推進、発展 □宮津の歴史・文化資源を活かした課題解決型学習
		全国学力・学習状況調査における将来の夢や目標を持っている生徒の割合	中3: 39.4% 全国平均 44.9%	中3: 40.5% 全国平均 36.1%	常に全国平均と京都府平均以上		
		全国学力・学習状況調査における今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小6: 69.0% 全国平均 37.2% 中3: 41.5% 全国平均 21.0%	小6: 45.0% 全国平均 29.4% 中3: 48.0% 全国平均 16.9%	全国平均以上		
	・学校給食	市立幼稚園給食の実施	—	2園	2園	<ul style="list-style-type: none"> ■年間を通じた民間委託によるセンター方式給食の運営 ■令和3年4月から公立の2幼稚園における給食の開始(再掲) ■宮津市学校給食委員会の開催 ■センター方式を導入した学校の給食費の公会計による管理 ■学校給食食材調達制度の運用と食育の推進 □給食食材費の高騰に対する保護者負担軽減に向けた緊急支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■センター方式給食の運営及び食育の推進(再掲) ■学校給食委員会の運営 ■幼稚園給食の実施(再掲)
		給食食材調達登録事業者	43件	42件	—		
食育の取り組み		—	—	—			
・学校教育環境の整備・充実	市立小中学校の耐震化	100%	100%	100%	<ul style="list-style-type: none"> 【安全で良好な教育環境の整備】 □養老小学校の府中小中学校へ通学する児童のため、スクールバス1台を購入 ■専用スクールバスの運行 ■3小連携事業の取組推進 ■学校ICT環境の充実(1人1台端末、高速大容量ネットワーク整備) ■学校施設長寿命化計画に基づく施設管理 【子どもの貧困対策】 ■まなび生活アドバイザー、スクールカウンセラーの配置による教育支援 ■就学援助費(国基準に伴う新入学用品費の単価アップ)の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 【安全で良好な教育環境の整備】 ■専用スクールバスの運行、置き去り防止装置の設置 ■3小連携事業の更なる取組推進 □学校ICT環境の充実(1人1台端末の更新、校内APの更新) ■学校施設長寿命化計画に基づく施設管理 【子どもの貧困対策】 ■まなび生活アドバイザー、スクールカウンセラーの配置による教育支援 ■就学援助費(国基準に伴う新入学用品費の単価アップ)の拡充 	
	非構造部材の耐震対策	44.4%	41.7%	100%			
	市立小学校の空調整備	79.6%	88.5%	100%			
	市立中学校の空調整備	54.8%	69.8%	100%			
	市立小学校のトイレ洋式化	53.0%	70.7%	100%			
	市立中学校のトイレ洋式化	22.6%	46.0%	100%			

宮津市教育振興基本計画の進捗状況と今後の重点

■ 継続 □ 新規・充実

基本方針	施策の体系	主な目標指標				R6の主要な取組	R7の重点方針
		目標指標	(実績) R1	(実績) R6	(目標値) R7		
	2 夢・志・豊かな感性を持った人づくり ・心身ともに健やかな子どもの育成	不登校児童生徒の出現率	0.14%	(小)2.07%	0%	■不登校児童生徒への対応(教育支援センター) □不登校生徒の新たな学びの場として、校内フリースクール(宮津中)を設置、運営 ■全小中学校へのいじめ調査の実施、検証 ■道徳教育・ボランティア活動 ■人権教育の推進 ■食育推進計画に基づく食育推進 ■センター方式給食の実施(4小学校・2中学校・2幼稚園) ・給食費の公会計化(センター方式給食校)による管理 ・調理・配送等業務民間委託により運営 ■学校給食委員会の開催 ・学校給食食材調達制度の運用ほか	■不登校児童生徒への対応(教育支援センター) □不登校生徒の新たな学びの場として、校内フリースクール(宮津小)を設置、運営 ■不登校児童生徒の学校復帰、進路実現及び社会的自立に向けた、学校全体での継続的な取組 □学校・家庭以外の居場所づくり「子ども第三の居場所」みやび子どもサポーターセンターの設置、運営 ■全小中学校へのいじめ調査の実施、検証 ■道徳教育・ボランティア活動 ■人権教育の推進 ■教育支援センターと連携した教育相談体制の構築 ■センター方式給食の運営及び食育の推進 ■学校給食委員会の運営 ■幼稚園給食の実施(再掲) □小中学生を対象とした大阪・関西万博体験の実施
			3.98%	(中)8.80%			
		いじめの認知件数/年	(小)235件	(小)208件	減少させる		
		(中)86件	(中)32件				
		(小)95.3%	(小)52.9%	100%			
	いじめの年度内解消率/年	(中)32.6%	(中)68.8%				
	・特別支援教育の充実	-	-	-	■教育相談会・教育支援委員会による就学支援 ■小中学校への特別支援教育支援体制の充実 ■全幼稚園・保育所(園)・小中学校における教育支援計画・個別の指導計画作成	■教育相談会・教育支援委員会による就学支援 ■小中学校への特別支援教育支援体制の充実 ■全幼稚園・保育所(園)・小中学校における教育支援計画・個別の指導計画作成	
	3 地域と一体となった学校づくり ・コミュニティ・スクールの取組	-	-	-	■学校運営協議会の開催(宮津学院・栗田学院・3小学校) ■コミュニティ・スクール推進コーディネーター(指導主事)の配置 ■地域学校協働活動の取組	■すべての学院・学校においてコミュニティ・スクールの一層の活性化 ■地域学校協働活動の推進	

宮津市教育振興計画の進捗状況と今後の重点

■ 継続 □ 新規・充実

基本方針	施策の体系	主な目標指標				R6の主要な取組	R7の重点方針
		目標指標	(実績) R1	(実績) R6	(目標値) R7		
【基本方針4】豊かな歴史文化の継承・活用	1 歴史文化資源の調査・価値づけ・保存	国・府・市指定文化財等の件数	199件	210件	214件	<ul style="list-style-type: none"> □文化財保存活用地域計画の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・宮津市文化財保存活用地域計画推進協議会の設置 □市内新指定等文化財候補の調査(府指定、暫定登録含) <ul style="list-style-type: none"> ・文化財候補の調査【新規】 ・新規指定3件(市指定2件、府暫定1件) ■市内文化財保全事業のコーディネート <ul style="list-style-type: none"> ・所有者等が実施の文化財修理事業等 ■市内重要遺跡の発掘調査(安国寺遺跡 H28～) <ul style="list-style-type: none"> ・安国寺遺跡発掘調査及び整理作業 ・民間開発行為に伴う工事立会 ■文化的景観保護推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・保存活用計画の作成(委員会2回、委託事業) ・フォーラムの開催 ・重要な構成要素の整備 1件(溝尻舟屋) □重要文化財旧三上家住宅の保存と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断調査【新規】R7まで 	<ul style="list-style-type: none"> ■文化財保存活用地域計画の推進 ■指定等文化財候補の調査(府指定、暫定登録含) <ul style="list-style-type: none"> ・新規府指定・府暫定登録文化財調査(府と協働) ・新規市指定文化財候補物件の調査 ■市内文化財保全事業のコーディネート <ul style="list-style-type: none"> ・指定・未指定文化財の修理相談、事業化 ■市内重要遺跡の発掘調査(安国寺遺跡 H28～R8予定) <ul style="list-style-type: none"> ・報告書の刊行に向けた整理作業 □文化的景観保護推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・保存活用計画(宮津地区)の策定 ・フォーラムなど普及啓発事業の推進 □重要文化財旧三上家住宅の保存と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断調査(R7まで) ・保存活用計画の作成【新規】R8まで
	2 歴史文化を学び親しむ機会の創出	旧三上家住宅観光客数	3,963人	2,471人	6,000人	<ul style="list-style-type: none"> ■天橋立の世界遺産登録推進 <ul style="list-style-type: none"> ・顕著な普遍的価値(OUV)の構築に係る調査研究(京都府と連携/文化庁協議、ワーキンググループ) ・天橋立国際カンファレンスの開催 ・天橋立世界遺産講座の開催・パネル展示 ・天橋立ネイチャー講演会の開催 ・関連団体、イベント等との連携・PR活動 ■旧三上家住宅の保存と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による自主事業実施 ・文化観光プログラムの開発 ・夜間ライトアップ及びイベントの実施 ■ふるさとみやづ学の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育、社会教育と連携し幅広い世代への学習機会の提供 ・子ども学芸員養成講座の実施 □宮津市歴史資料館の企画展を開催【新規】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産北前船フォーラムにあわせて特別開館 □宮津地区を対象とした多言語解説、デジタルマップの作成【新規】 	<ul style="list-style-type: none"> ■天橋立世界遺産登録推進 <ul style="list-style-type: none"> ・事前審査申請書、推薦書(案)の作成(京都府と連携) ・「世界遺産にする会」への支援を通じた普及啓発・機運醸成 ・関連団体、イベント等との連携・PR活動 ■旧三上家住宅の保存と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による自主事業の実施 ・京都府立丹後郷土資料館と連携した歴史講座の開催【新規】 ■ふるさとみやづ学の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども学芸員体験実習の実施 ・学校教育、社会教育と連携し幅広い世代への学習機会の提供 □天橋義塾開校150周年記念事業 <ul style="list-style-type: none"> ・宮津市歴史資料館の企画展示 ・デジタルマップを活用したウォークイベントの開催 □天橋立周辺を対象とした多言語解説、デジタルマップの作成【新規】

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針1 心豊かで生きがいのある人生を創造する学びの推進

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
① 生涯にわたる多様な学習機会の拡充			
1 社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■すこやか大学講座の実施 学生310人 8講座開催、クラブ活動の実施 ■社会教育委員会の開催 3回 	<ul style="list-style-type: none"> ■予定事業をすべて実施できた。 	
2 社会教育活用施設管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■社会教育活用施設の管理運営(上宮津地区、由良地区、養老地区、日ヶ谷地区) ・社会教育活用施設利用延日数 合計2,194日 	<ul style="list-style-type: none"> ■各施設とも定期利用者が多く、地域住民の身近な生涯スポーツ施設として定着している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の老朽化 ■定期的な利用者の固定化
3 公民館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■地区公民館の管理運営 ■各地区公民館事業の実施、支援 ■中央公民館事業の実施：2回 ■市民実践活動センターへの中央公民館指定管理実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■各地区毎に地区住民の学習ニーズ等を踏まえ、ふるさとみやぶ学、講演会、健康づくり、スポーツ大会などを実施することが出来た。 ■公民館事業への参加者数は10,673人と前年度比で10.3%増加し、令和元年度以来の1万人超えに到達した。 ■小学生自然科学講座等において、宮津天橋高校宮津学舎フィールド探究部と連携した事業ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■高齢化及び人口減少に対応した事業内容及び手法等の検討 ■施設の老朽化
4 図書館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市立図書館協議会の開催 2回/年 ■図書館の管理運営 ・地域高校連携事業、市内中学校連携事業 ・インターネット予約等の機能の整備 ■「はまなす文庫」(移動図書館車)の運行 	<ul style="list-style-type: none"> ■図書館利用者の拡大を図るため、中高生向けの図書展示コーナーを充実し、中高生の利用を促進した。また、インターネット予約やリクエスト機能の整備により利便性が向上した。 ■毎月のテーマ図書展示や利用者おすすめ本コーナーの設置により、利用者の本との出会いの場を整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■電子図書館、移動図書館車両の更新など、時代に応じた図書館の検討
② 人権教育・啓発の推進			
5 社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■聴覚障害者成人講座の実施：1回 参加者14名 ■障害者青年学級の開催 49回/年 学級生延べ149名 	<ul style="list-style-type: none"> ■青年学級を昨年度よりも多く実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■指導者の後継者育成 ■各種事業への参加者(指導者・学級生)の固定化や高齢化
	<ul style="list-style-type: none"> ■人権教育講座の実施、企業人権教育推進協議会への支援 ■人権問題研修会の開催 2回/年 参加者143名 ■人権啓発カレンダーの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ■人権教育講座を市内事業所や地区公民館で実施した。 ■市の広報誌に、人権に関わる記事を毎月掲載することにより市民への人権啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■多様化する人権問題への対応

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針1 心豊かで生きがいのある人生を創造する学びの推進

③ 家庭や地域の教育力の向上				
6	社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 青少年問題協議会研修会の開催 1回/年 参加者60名 ■ 青少年健全育成事業 子どものびのび体験活動 119回/年 参加者延べ2,510名 (放課後見守り、けん玉大会、陶芸、料理教室等) 小学生自然科学講座 参加者25名 わくわく星座教室 参加者7名 ■ 中学生の主張大会：来聴者100名 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 青少年健全育成の研修会を通して、自尊感情を育む等について学ぶことができた。 ■ 乳幼児の家庭や小中学生の保護者向けに家庭教育啓発リーフレットを作成・配布し、子育て時における家庭教育の啓発を図った。 ■ 中学生が日頃考えていることをまとめ、発表する機会として実施し、市民への中学生の考えを理解する機会とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 青少年健全育成と家庭教育力向上に資する研修機会等の充実
7	地域学校協働活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域学校協働活動推進委員の配置 宮津学院2名 栗田学院2名、北部3小学校4名 ■ 推進員連絡協議会 会議1回、研修会3回 ■ 地域学校協働活動の実施 体験活動、学校支援ボランティア 121事業 実施回数 840回 参加者延べ 4,998人 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各学院・小学校において、学校運営協議会との連携を図り、地域の特色を活かした地域学校協働活動を実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校運営協議会を通じた学校と地域の連携を密にした持続可能な取り組み。
④ ふるさとみやづ学の構築				
8	社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 二十歳のつどい：参加者103名 出席率76.9% ■ 各地区公民館での「ふるさとみやづ学講座」の開催 26講座 延べ2,354人参加 ■ すこやか大学講座の開催 歴史訪問の開催 参加者24名 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民の生涯にわたるシビックプライドの育成を目的として、宮津や地域の文化や歴史などの「ふるさとみやづ」について学び考えるを講座等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 二十歳のつどいの式典以外の内容について、新たな企画立案の検討が必要。 ■ 各地区公民館やすこやか大学での「ふるさとみやづ学講座」の継続的な取り組み
9	高校・大学・地域連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高校大学連携コーディネーター配置 1名 ■ 高校地域連携コーディネーター配置 1名 ■ 宮津市内高等学校・宮津市連携推進会議の開催 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ■ コーディネーター配置とその指導や助言により、高校生の探究学習の専門的な知見の習得や、地域との関わりを深めることで、高校生自らが設定した課題に対する実践活動の充実を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高校生の総合的な探究の時間において、様々な課題テーマを通じた地域との関わりを更に充実させる必要がある。
【総括】		<p>○生涯にわたる多様な学習機会の拡充 公民館やすこやか大学などの取り組みを通じて、各種生涯学習事業を積極的に展開した結果、各種講座数や参加者数が増加し、生涯にわたる多様な学習機会を提供することができた。</p> <p>○人権教育・啓発の推進 「宮津市人権教育・啓発推進計画(第2次)」の趣旨を踏まえ、人権の理念や様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めるための取組を計画的に実施することができた。引き続き、地域、事業所、学校等の様々な機会を通じて、複雑な現代社会の多種多様な人権問題に対応するための、人権教育や啓発を進めていく必要がある。</p> <p>○家庭や地域の教育力の向上 公民館における小中学生向けの様々な取り組みや、学校運営協議会における地域学校協働活動などの各種事業や、青少年健全育成の研修会や各家庭への啓発機会を通じて、家庭や地域の教育力の向上を図ることができた。今後も更なる向上を図る取り組みの拡充に努めていく。</p> <p>○ふるさとみやづ学の普及・推進 各地区公民館事業、すこやか大学の講座等の多様な事業を実施することで、ふるさと宮津への理解と愛着を深めることができた。また、新たに高校と地域や大学が連携し、地域の様々な課題解決の学習を深めることで、宮津を担う人材育成に取り組んだ。引き続き、ふるさとみやづ学による地域づくりや人材づくりの取り組みを推進していく必要がある。</p>		

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針2 明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
① 質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実			
1 教育委員会活動費／ 教育委員会事務局経費	<ul style="list-style-type: none"> ■教育委員会：14回／年 ■総合教育会議：1回／年 ■教育研究協議会：5回／年 	<ul style="list-style-type: none"> ■総合教育会議における教育振興計画の進捗状況等の確認 ■教育委員会事務事業点検評価の実施 	
2 認定こども園運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津暁星幼稚園の運営体制の拡充 ■施設型給付費：1号認定：10人（延べ138人）、2号認定：22人（延べ210人）※年度末人数 ■副食費独自減免に係る補助：対象者1名 	<ul style="list-style-type: none"> ■R6～幼稚園型認定こども園へ移行に伴い運営体制の拡充・開園日、開園時間の増、給食提供日の増 ■保護者の就労ニーズに応じた保育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設・遊具の老朽化 ■未就園児の一時預かり・2号認定の短時間認定の延長保育に対応する専属の保育士の確保
3 幼稚園・小学校・中学校管理・教育振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園2園、小学校5校、中学校2校 ■小規模校における児童のより良い教育環境の確保 ■特別支援教育支援員配置(小11人・中2人) ■漢字検定料(小215人)、英語検定料補助(中156人) ■栗田小学校トイレ様式化 	<p>【R7目標】全国学力・学習状況調査における教科に関する調査の平均正答率：常に全国平均と京都府平均を上回る状況にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ■公立幼稚園入園児数：38名 (R5:38名) ■通常学級に在籍する要配慮児童等への教育支援充実 ■全国学力・学習状況調査の正答率： <p>R6 市(全国・京都府)</p> <p>小6 国語 67.0(67.7・70.0) 中3 国語 60.0(58.1・59.0) 算数 64.0(63.4・67.0) 数学 53.0(52.5・53.0) 英語 46.0(45.6・47.0)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小学校トイレ様式化 52.7%→70.7% 	<ul style="list-style-type: none"> ■より良い教育環境を確保するため、学校再編を引き続き協議していく必要がある ■児童生徒の学力向上に向けて、引き続き、対策の強化を図る必要がある ■学校施設の将来にわたる設置方針を検討する必要がある ■幼稚園、保育所(園)等就学前施設の設置方針を検討する必要がある
4 スクールバス運行・ 購入事業／遠距離通 学児童・生徒援助事 業	<ul style="list-style-type: none"> ■児童生徒の安全確保のためスクールバス(9路線)の運行 ■R4.4月～上宮津線1路線について福祉有償運送を活用 ■R6.4月～養老小再編により、専用スクールバスを購入・運行 ■公共交通機関利用児童生徒への遠距離通学費補助金支給 	<ul style="list-style-type: none"> ■遠距離通学する児童生徒の通学時の安全確保が図られた ■生活交通の確保が図られた 	<ul style="list-style-type: none"> ■遠距離通学する児童生徒の安全な通学手段の確保等を図るため、引き続きスクールバス運行に努める
5 就学児童・生徒援助 事業	<ul style="list-style-type: none"> ■新入学学用品費の入学前支給の実施 ■R4～家庭学習に係るオンライン通信費の支給を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ■就学援助により経済的理由による非就学児童生徒は発生していない 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの貧困対策の一環として、事業の継続的な実施が必要である
6 宮津の新たな学び創 造事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市教育フォーラムの開催 ■学習における基礎・基本の徹底に向けた対応 ・算数学び定着サポーター兼ICT支援員の配置 ・社会科デジタル副読本「わたしたちのまち宮津市 新訂版(第八版)」の作成、Web対応版作成 ■論理的思考力や表現力の育成 ・コミュニケーション教育の推進 ・語学力向上に向けた取組み ■学びの深化プロジェクト研修チーム (TEAM GLAPAGOS)による実践研究及び波及 ■家庭学習用モバイルルーター貸出 ■AIドリル等を活用した個別最適な学びの実施、プログラミングソフト等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市教育フォーラムの開催 ・開催日：令和6年12月7日(土) 参加者：約130名 ・実践報告 ・スピーチ&トーク「私の今、そしてこれから」 ■小中一貫教育と合わせて取組む学力向上プランに基づく実践 ■宮津市版教科・領域等カリキュラムに基づいた指導 ■1人1台タブレット端末を活用した学習意欲の喚起と個別最適な学びの実現に向けた授業改善 ■ICTを活用した新たな学びと協働的な学びの構築、家庭での予習学習・反転学習への活用 ■「ふるさとみやづ学」において副読本「わたしたちのまち宮津市(新訂版)」の活用及びWeb版作成、HPでの公開 ■コミュニケーション教育の推進 ・宮津学院 	<ul style="list-style-type: none"> ■推進基本計画及び学力向上プラン、教科・領域等カリキュラムに基づく認知能力・非認知能力を一体的に育む教科指導等のさらなる充実が必要 ■研究指定事業等の成果について学校間で共有し横に展開 ■ICT活用方法の検討・実証、家庭での予習学習・反転学習への活用
7 英語指導事業	<ul style="list-style-type: none"> ■英語指導助手配置(小学校)：1名 ■英語指導助手配置(中学校)：1名 	<ul style="list-style-type: none"> ■全幼稚園・保育所等への共通した国際理解教育の提供 ■英語指導助手の生の英語授業による児童生徒のリスニング能力の向上、外国人とのコミュニケーション能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ■外国人観光客対応も含め、市民全体の国際理解強化を図る必要がある ■英語活動、英語科の指導の充実に向けて、教員の英語力向上を図る必要がある

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針2 明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
8 学校給食運営事業/物価高騰下での給食費高騰対策支援	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園給食の開始 ■民間委託によるセンター方式給食の実施 ■宮津市学校給食委員会の開催 ■センター方式を導入した学校の給食費の公会計による管理 ■学校給食食材調達登録制度の運用と食育の推進 ■物価高騰に伴う保護者負担軽減のため、センター方式給食の公立幼稚園・小・中学校への支援及び自校給食実施校への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■中学校給食及び民間委託によるセンター方式給食の継続実施(小学校4校、中学校2校、幼稚園2園) ■物価高騰に伴い、値上げを行った幼稚園、小中学校の給食費の値上必要額(保護者負担額)の全額を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■平成30年度から一部公会計化した学校給食費保護者負担金の債権管理
<h3>② 夢・志・豊かな感性を持った人づくり</h3>			
9 不登校児童生徒支援事業 (こころのまど・ひろば運営事業、校内フリースクール運営事業)	<p>(こころのまど・ひろば運営事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■教育相談室「こころのまど」 ・相談件数 来室31件、電話100件、訪問49件 ■適応指導教室「こころのひろば」 ・児童生徒支援 通室139回 ・卒業生支援 来室12回 ・保護者等支援 面談等154回、家庭訪問17回 ・学校訪問 会議等144回 ■宮津市適応指導教室等通室費補助金 ・1件：34,738円 	<ul style="list-style-type: none"> ■「こころのまど」において、子どもや保護者、幼稚園や小中学校の教職員等の教育相談に応じ、問題解決に向けて支援を行った。 ■不登校及び不登校傾向にある児童生徒を対象に適応指導教室「こころのひろば」を継続実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■不登校児童生徒の学校復帰、進路実現及び社会的自立に向けた継続的な取組が必要 ■放課後から夜間の時間帯を中心に、学校間・校種間(小中学校)を問わず、貧困、不登校、虐待など、家庭環境・学習環境等に様々な課題を抱える児童生徒が、学習・食事・入浴等の活動を通して、生活習慣・学習習慣を身に付けて、将来の自立につながる居場所を確保する。
10	<p>(校内フリースクール運営事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■校内フリースクール(宮津中学校)利用実績 ・実利用人数：13人 ・延べ利用人数：1,039人 ・対前年度比延べ欠席日数：△246日 ■校内フリースクール事業費 ・事業費3,632,602円 	<ul style="list-style-type: none"> ■支援員を配置し、不登校生徒の新たな学びの場として、生徒のサポートを行った。 ・フリースクールの存在が安定した登校に結びつき、教室の授業にも入っていた。 ・2学期の後半から3年生を中心に教室を居場所に戻った生徒が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■不登校児童生徒の学校復帰、進路実現及び社会的自立に向けた、学校全体での継続的な取組が必要 ■不登校・不登校傾向の児童生徒が増えている中、個々の状況に対応しながら、学習や生活面のサポートに対応する、専門性のある支援員等の確保が必要
11	<p>いじめ防止対策推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査 	<ul style="list-style-type: none"> ■いじめの認知件数(小208件・中38件) 解消：小110件・中22件／解消に向け取組中：小98件・中10件 	<ul style="list-style-type: none"> ■いじめの未然防止や早期発見・早期対応のための継続的な取組が必要

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針2 明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
③ 地域と一体となった学校づくり			
12 地域と学校の連携・協働推進事業	<p>■宮津学院 学校運営協議会 8回 マラソン大会安全監視ボランティア、米作り体験 そろばん・ミンシンの書初めの学習支援、昔遊び体験 地域探検案内、歴史・くらしの文化学習</p> <p>■栗田学院 学校運営協議会8回 図書室環境整備、避難訓練、田植え・稲刈り体験 読書ボランティアによる読み聞かせ、 海での水泳指導、着付け教室、ミンシンの学習支援 校庭除草・浜掃除作業</p> <p>■吉津小学校 学校運営協議会8回 農業支援、下校付き添い、飛び出し坊や作成・設置 グラウンドゴルフ体験、教職員との懇談 学習支援(総合、社会、家庭科)</p> <p>■府中小学校 学校運営協議会 7回 読み聞かせボランティア、登下校見守り 地区運動会での「天橋立音頭」、あいさつ運動 草刈ボランティア、サツマイモ掘り体験 田植え・稲刈り体験、花いっぱい運動</p> <p>■日置小学校 学校運営協議会 6回 地域探検、七夕市参加、教職員との懇談、昔遊び 農作物収穫等体験(こんにゃく・オリーブ収穫・ 味噌づくりほか)、青嵐荘との交流</p>	<p>■定期的に学校運営協議会が開催されることで、学校(教職員)と地域(協議会委員)の間で意見交換が行われ、また、授業参観や学校行事、取組等で学校に足を運ぶ機会を通じて、児童生徒に接することで、学校運営へ地域が関わる意識が高まった。</p>	<p>■学校運営協議会における学校(教職員)と地域(協議会委員)の密な議論や連携が必要。</p>

【総括】	<p>○質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学力向上プラン」、「宮津市版教科・領域等カリキュラム」に基づいて、基本方針の具体化と教育施策の明確化、各教科の指導内容の共有化を図るとともに、論理的思考力や表現力の育成のためのコミュニケーション教育の推進など、認知能力・非認知能力を一体的に育む先進的・効果的な事例による質の向上を図ることができた。 ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現する先進的・効果的な取組を推進することができた。 学校給食運営事業では、食育の推進及び平成30年度2学期からの中学校給食とセンター方式給食等の継続的な運用を行った。また、幼稚園給食は、令和3年度1学期から実施できた。さらに、急激な物価高騰により給食食材が高騰する中、給食費の値上げを行った公立幼稚園、小中学校の値上必要額(保護者負担額)の全額支援を行った。 就学児童生徒援助事業では、新入学児童生徒学用品費の入学前支給を継続し、児童生徒の保護者の経済的負担の軽減をさらに拡充することができた。 より良い教育環境の整備のため、養老小学校と府中小学校とを再編することに関して、保護者及び地域との協議を進め、令和6年4月に再編することを決定した。 <p>○夢・志・豊かな感性を持った人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育相談室「こころのまど」、適応指導教室「こころのひろば」を開設し、児童生徒及び保護者等の相談にきめ細かく対応するとともに、近年、増加傾向にある不登校児童生徒の自主性や学習意欲を高め、学校復帰に向かえるよう活動を行うとともに、保護者への支援及び学校との連携を行った。 宮津中学校に設置した校内フリースクールにおいて、支援員を配置し、不登校生徒の新たな学びの場を確保し、生徒のサポートを行った。 教育相談会・教育支援委員会による就学支援を実施し、小中学校の特別支援教育支援体制の充実を図るとともに、全幼稚園・保育所(園)・小中学校における教育支援計画の作成を行い、支援を必要とする子どものニーズに応じた教育、支援を実施した。 <p>○地域と一体となった学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学区において、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)が定期的に開催され、地域(委員)から様々な意見が出される中で、地域と学校の連携が図られた。また、地域の特色ある地域学校協働活動を展開したことで、児童生徒の学びが深まり、住民交流を通じて地域活動の活性化につながった。
-------------	--

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針4 豊かな歴史文化の継承・活用

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
① 歴史文化資源の調査・価値づけ・保存			
1 文化財保護・活用推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■文化財保護審議会(2回) <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財候補物件の選定・審議等 ・宮津市指定文化財候補の調査【新規】 ■市内新指定等文化財(R6年度) <ul style="list-style-type: none"> ①宮津市指定文化財 2件 ②京都府暫定登録文化財 1件 ■両丹文化財保護連絡協議会(11/25 於:福知山市) <ul style="list-style-type: none"> ・講演「被災した民俗文化財資料における復旧対応について」 両丹地域の審議会委員、担当者(約50名) ■文化財説明板の設置・更新(新設1件) <ul style="list-style-type: none"> 「阿弥陀如来像と七条仏師・康清(如意寺)」(宇由良) ■市内文化財保全事業(所有者実施) 17件 <ul style="list-style-type: none"> ①国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 1件 ②国指定文化財等維持管理費補助金 2件 ③文化芸術振興費補助金(文化庁) 6件 ④京都府指定・登録文化財等補助金 3件 ⑤京都府指定・登録文化財等維持管理費補助金 1件 ⑥京都府社寺等文化資料保全補助金 4件 ■文化財保存活用地域計画推進協議会の設置と開催【新規】 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域計画」の推進のため、新たな協議会を設置 ・協議会の開催(1回) 計画の進捗と確認と情報共有 ■重要文化財 旧三上家住宅の耐震診断調査の実施(R7まで)【新規】 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の活用を見据えて、建物の保存管理に向けた耐震診断調査 ■子ども学芸員養成講座 <ul style="list-style-type: none"> ・7月から8月(全4回) 参加者:4名 ・宮津市歴史資料館の特別開館 ■宮津市歴史資料館の特別開館 <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産北前船フォーラムにあわせて企画展示を実施 ・企画展「宮津城下町と北前船」10月20日～11月24日(来館者:448名) ・パンフレット「北前船と宮津 由良」作成 ■文化財保護担当職員による講師派遣(22回) <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座等(一般) 14回 ・出前講座等(学校) 8回 ■「みやづ歴史紀行」の連載 <ul style="list-style-type: none"> ・広報みやづ(月1回発行)に継続して連載 ■文化財多言語解説コンテンツの作成【新規】 <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁の補助を受け、宮津市文化財活用協議会が実施 ・旧三上家住宅、カトリック教会、清輝楼、茶六本館を対象として多言語解説、デジタルマップを作成 	<ul style="list-style-type: none"> ■新指定文化財 <ul style="list-style-type: none"> 新規事業として、宮津市指定文化財候補の調査を実施し、宮津市指定文化財の指定について体制を強化。2件を新規指定。 ■文化財の保全事業 <ul style="list-style-type: none"> 所有者が行う文化財の修理事業のコーディネートを実施。府と連携し、多くの市内の貴重な文化資料の保全を図ることができた。国の文化芸術振興費補助金を活用し、地域の伝統行事の保全に取り組むことができた(6件)。 ■文化財保存活用地域計画の推進 <ul style="list-style-type: none"> 文化庁の認定を受けた「宮津市文化財保存活用地域計画」の推進にあたり、新たに「宮津市文化財保存活用地域計画推進協議会」を設置し、計画推進の体制を整備した。 ■重要文化財 旧三上家住宅の耐震診断調査 <ul style="list-style-type: none"> 新規事業として、建物の保存・活用を見据えて耐震診断調査を実施(R7まで)。 ■普及啓発事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> 「子ども学芸員養成講座」を継続的に開催するとともに、日本遺産北前船のフォーラムにあわせ、休館中の宮津市歴史資料館の企画展を実施した。また、宮津地区の文化財を対象として、多言語解説コンテンツを整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> R5年12月に文化庁の認定を受けた「地域計画」に基づき、関連部局と連携を深めながら、計画的な事業の実施を推進する。 ■未指定文化財の調査と価値づけ <ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財の指定の推進 ・府指定・暫定登録文化財制度の活用 ・国指定・登録文化財制度の活用 ■文化財の保全事業 <ul style="list-style-type: none"> ・国府等の補助制度を活用した文化財修理事業の推進 ・市独自の文化財保全事業補助制度の構築(※市指定文化財修理に対する補助制度など) ■文化財保護に係る普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさとみやづ学」の推進(学校教育、社会教育等との連携強化) ・デジタル技術を活用した情報発信(文化財DB、デジタルマップ等) ■文化財保存・活用の総合的な推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域計画」に基づき、まちづくり(観光等)、人づくり(教育)に貢献 ・宮津市文化財保存活用地域計画推進協議会による計画の推進
2 市内遺跡発掘調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ■安国寺遺跡発掘調査(28年度からの継続事業) <ul style="list-style-type: none"> 市内の重要遺跡を対象として、遺跡の保存・活用を図る目的で継続的に範囲内容確認調査を実施。 ・丹後府中遺跡群発掘調査委員会(1回、現地指導1回) ・発掘調査(126㎡)、整理作業 ・現地説明会の開催 ■開発行為の調整と工事立会 <ul style="list-style-type: none"> 市内遺跡の保存・活用を図るため、埋蔵文化財包蔵地内において開発行為の調整を図るとともに、必要に応じて試掘調査、工事立会を行った。 ・文化財保護法第93条に基づく届出 6件 ・文化財保護法第94条に基づく届出 4件 ・試掘調査 1件 工事立会 9件 	<ul style="list-style-type: none"> ■安国寺遺跡発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> 古代国府、中世の安国寺に関する遺構の検出を視野に、重要遺跡の範囲内容確認調査として平成28年度から継続して実施中。令和6年度は、古代の柱跡(一辺約1m、方形)を7基検出。国府など古代官衙に関連する可能性が高まった。また、現地説明会を開催したほか、府中をよくする地域会議と連携して現地見学会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■安国寺遺跡発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> 遺跡の範囲や遺構、文化層の深度を把握し、今後の開発に備えるため、年次計画に基づき系統的な調査を継続し、遺跡の保全措置を講じる必要がある。 ・調査報告書の作成 ・遺跡の価値の証明と保全に関する措置の検討 ・調査成果の普及啓発と活用 ■増大する民間開発(主に宅地造成)に対する対応 ■国史跡「成相寺旧境内」の保全活用
3 重要文化的景観保護推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津地区の追加選定 <ul style="list-style-type: none"> 宮津地区の追加選定に向け、保存計画の作成や普及啓発事業を実施 ・宮津市文化的景観検討委員会(2回) ・保存計画策定支援委託業務 ・文化的景観フォーラム 3月16日(参加者:30名) ■重要な構成要素(府中、文珠地区)の整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・溝尻舟屋の整備事業を実施 ・完成後、文化的景観フォーラムで現地見学会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津地区の追加選定 <ul style="list-style-type: none"> 保存計画の作成を進めるとともに、文化的景観フォーラムを開催し、普及啓発と気運醸成を図った。 ■重要な構成要素(府中、文珠地区)の整備 <ul style="list-style-type: none"> 溝尻舟屋の整備事業を実施し、その成果を文化的景観フォーラムの現地見学会で公開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津地区の追加選定 <ul style="list-style-type: none"> ・保存管理計画の策定 ・地域同意を得るための普及啓発活動、説明会等の開催 ・文化庁への選定申出、景観計画変更等 ■計画的な整備事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・重要な構成要素の整備事業の推進 ・景観まちづくりとの連携

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針4 豊かな歴史文化の継承・活用

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
② 歴史文化を学び親しむ機会の創出			
4 世界遺産登録推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■調査研究事業 京都府が事務局を務める「天橋立世界遺産登録推進会議」に協力し、OUV（顕著な普遍的価値）の構築に向け調査研究を行った。 ・専門委員会 2回 ・ワーキンググループ 5回 ・文化庁協議 2回 ・天橋立国際オンライン・カンファレンス 2月26日 ■天橋立を世界遺産にする会への支援 ・天橋立世界遺産講座（全2回／参加者：92名） ・天橋立ネイチャー講座（10月／講演会：15名、現地ウォーク：7名） ・パネル展示「天橋立と世界遺産」展 10月～11月／重要文化財 京都府庁旧本館 ・天橋立一斉清掃アフターウォーク（4月、12月／参加者：15名） ・PRグッズの作成（ポスター、クリアファイル、バッジ、ステッカー） 	<ul style="list-style-type: none"> ■調査研究事業 京都府、天橋立世界遺産登録推進会議と連携してOUV（顕著な普遍的価値）の原案を作成し、国際オンライン・カンファレンスにおいて海外の有識者から一定の評価を得た。 ■天橋立を世界遺産にする会への支援 地元や京都市内において普及啓発事業を行うとともに、PRグッズを作成し、情報発信のコンテンツが充実した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ユネスコに提出する推薦書（案）の作成 ・事前評価申請書、推薦書（案）の作成 ・比較研究の推進 ・保護体制の構築、強化 ■世界遺産登録に向けての機運醸成 ・天橋立を世界遺産にする会への活動支援 ・府、近隣他市町、他機関との連携協力の推進
5 重要文化財旧三上家住宅管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■指定管理者による管理運営の実施（建物公開） ・指定管理者 NPO法人 天橋作事組 ・観覧者数 2,471人（R5年度：2,287人） ■観光コンテンツ化による賑わいづくり ・文化観光プログラムの開発支援（モニターツアー、体験事業の開発） ・夜間ライトアップ及びイベント開催（夜間音楽イベント9回） ・京都府主催のプロムナードコンサート ・宮津おどり振興会による踊り披露、体験（8回） ・庭座敷を活用した夜間宴席の実施 ・丹後大震災パネル展 	<ul style="list-style-type: none"> ■指定管理者によるユニークメニュー活用の推進。 夜間イベントの定期的開催や、Caféの運営、夜間宴席など新たな施設の活用について軌道に乗りつつある。また、利用料金外の自主事業収入もあり収益性の向上につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■文化財建造物としての適切な保全管理 ・持続可能な管理運営を行えるシステムの構築（収益性向上など） ・建物の耐震診断の結果や、保存活用の方針を踏まえた大規模修理の検討
6 みやづ歴史の館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■指定管理者による管理運営の実施 ・指定管理者 公益財団法人宮津市民実践活動センター ・文化ホール利用者人数 10,695人（R5年度：10,729人） 	<ul style="list-style-type: none"> ■市内の文化活動の拠点施設として、講演会、発表会、公演など、様々な催しが実施された。 	
7 みやづ歴史の館整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ■みやづ歴史の館エレベーター（1号機、2号機）機能維持工事 ・かご操作盤内制御基板、停電時自動着床装置用バッテリー等の更新 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の管理上優先度の高い設備の更新を行い、施設利用者の安全確保に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■経年劣化した設備等の計画的更新

【総括】	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保護・活用推進事業 ・「文化財保存活用地域計画推進協議会」を新設し、計画推進に向けた体制を整備した。 ・子ども学芸員養成講座を継続して行うとともに、宮津市歴史資料館の企画展示を開催し普及啓発事業を強化した。 ・「ふるさとみやづ学」の定着や拡大を推進し、出前講座など職員派遣の実績が増加した。 ・重要文化財旧三上家住宅の保存・活用のため、耐震診断調査を実施した。 ○市内遺跡発掘調査事業 ・安国寺遺跡発掘調査について、年次的に調査事業を実施。国衙に関連する柱跡の検出など大きな成果をえた。 ・安国寺遺跡以外の市内遺跡についても、発掘調査を計画的・継続的に実施し、遺跡の内容や特質、価値を明らかにし、保全活用に資する資料を蓄積していきたい。 ○重要文化的景観保護推進事業 ・宮津地区の追加選定に向け、保存計画の作成を進めるとともに、フォーラムを開催し地域住民への普及啓発に努めた。 ・重要文化的景観の選定地区において、重要な構成要素である溝尻舟屋の整備事業を実施した。 ○世界遺産登録推進事業 ・京都府と連携して調査研究事業を進め、OUV（顕著な普遍的価値）の原案を作成した。 ○旧三上家住宅管理運営事業 ・R3年度実施の環境整備を土台として、指定管理者による夜間イベントの定期的開催や、Caféの運営など、観覧のみでない新たな施設の利活用について軌道に乗りつつある。また利用料金外の自主事業収入もあり、収益性の向上につながることができた。
-------------	--

はじめに

本意見書は、令和 6 年度の教育委員会事務事業総括書について、宮津市教育大綱・教育振興基本計画に基づき、令和 6 年度市政資料集、令和 6 年度決算事業等説明資料、並びにWEB上で公開されている資料などを参考にして、意見をまとめたものである。

宮津市が新しい教育の創造に向けて、一貫して活発に取り組を進められている点が印象的である。今年度もそうした取り組みを中心に、宮津市教育委員会の事務事業について点検し、気が付いた点を述べることにした。

1. 総合教育会議と教育委員会議について

令和 6 年度の総合教育会議では、「子どもたちの多様な学びの場の実現に向けて」が議題とされ、「宮津市学力向上プラン×宮津の新たな学び創造事業」について、また「子どもの新たな居場所づくり」について、特に不登校の問題について重要な意見交換がなされていたと思う。新しい学びを創造する未来志向の取り組みと現状の多様な子どもの実態に丁寧に向き合った取り組みを並行して進めておられることがわかる。両者を「多様な学びの場の実現」として同じカテゴリーで関連づけながら進めることが必要であり、総合教育会議において適切な議論が展開されていたと思う。

教育委員会会議は、例年通り、定例会 12 回、臨時会 2 回、合計 14 回開催された。いずれの会議でも議事に入る前の教育長報告において、市の状況が丁寧に、要領よく伝えられている。その後、教育長からの報告についての質疑や、教育委員から参加した学校行事などの報告も丁寧になされている。このような教育委員会議の記録を見ると、宮津市の学校教育の現状や教育長をはじめ教育委員の方々がどのように学校教育に関わり、どのようなことを感じておられるのか、よく理解できる。その中で、養老小学校と府中小学校の再編後の状況について報告がなされており、丁寧な対応をしておられることが伝わってくる。教育委員会の役割を適切に果たしておられると思う。

2. 基本方針 1 心豊かで生きがいのある人生を創造する学びの推進について

高校・大学・地域連携推進事業が注目される。宮津市が高校や大学、地域との連携を進めようとするもので、これまで教育委員会が取り組んできた施策を飛躍的に拡大させるものである。それは、高校大学連携コーディネーター、高校地域連携コーディネーターを配置して、連携を強化しながら、宮津市内高等学校・宮津市連携推進会議を開催して意見交流を図る機会を設定するなど、高等学校、大学そして地域の事業者との交流の場を創り出す取り組みである。さらにこの事業は高校生が地域創生にもかかわるものであり、全国に発信し、他の地域とも交流するものである。こうした取り組みは、高等学校の魅力化を目指すものであることから、一般的には都道府県主導で取り組まれるものであり、そうした事業を宮津市が積極的に取り組んでいることは、高い意欲に支えられた挑戦的で画期的な取り組みとして高く評価されると思う。またこの事業は、「ふるさとみやづ学」の構築に位置づけられるものであり、それは小中学校での「ふるさとみやづ学」のその後の取り組みになることから、宮津市の学校教育の充実にもつながるものである。中学校から高等学校への接続を豊かなものにすることも期待される。

3. 基本方針 2 明日のみやづを創り上げる人間性豊かな子どもの育成について

令和 6 年度においても「宮津の新たな学びの創造事業」が充実しており、魅力的な取り組みがなされ、成果が表れているように思う。まずコミュニケーション教育については、令和 5 年度に取り組まれたカリキュラムやモデル授業の開発を踏まえて、宮津小学校 6 年生と宮津中学校 1 年生を対象に、年 3 回のワークショップ型・双方向型のアクティブラーニングが実施されており、試行実施から本格実施に発展している。まだまだ取り組み始めたばかりであることから、自らの実践になりきっていないと思われるが、経験を重ねる中で宮津市ならではの実践になるように成熟させていただきたいと思う。実践により児童生徒にどのような変化があるのか、また教員自身にどのような変化があるのか、じっくりと見つめることが大切であると思う。

「学びの深化プロジェクト」は、2 年目の取り組みとなり、実施要項に沿って着実に進められているように思われる。このプロジェクトは、主体性、学びあい、挑戦といった重要なキーワードが多くちりばめられ、それらが響きあうような形で学びが深まっていくような印象を受ける。さらに教員自身の学びもプロジェクトに組み込まれ、教員自身が実践研究し、それを研修などで交流し、高めあうような関係が作られつつあるように思う。「TEAM GALAPAGOS」の取り組みはとても魅力的である。

特筆すべきは、宮津中学校の由利敬亮教諭が、一般社団法人日本教育情報化振興会主催の「ICT 夢コンテスト 2024」に応募し、見事、優良賞を受賞したことである。その成果物である中学生が作成した「おしごとマガジン」については、新聞でも取り上げられ大いに注目を浴びたものである。総合的な学習の時間で取り組まれてきた探究、課題解決学習の実践が大きな成果を上げ始めていると見ることができるであろう。

その他、宮津市においても、不登校児童生徒数の増加が、小学校、中学校ともに歯止めがかからない状況が続いている。「校内フリースクール」の設置、運営も始められ、新たな体制で不登校の児童生徒に向き合おうとしている。不登校児童生徒の増加をどのような問題としてみるべきなのか、不登校児童生徒に向き合う実践の中で考え続けることが必要であろう。

4. 基本方針 4 豊かな歴史文化の継承・活用について

令和 5 年度に文化庁より認定された「文化財保存活用地域計画」の初年度にあたり、宮津市文化財保存活用推進協議会が設置され、事業を推進する体制が整えられたと言える。「ふるさとみやづ学」や「子ども学芸員」など子どもがかかわる事業が重要であり、魅力的であると思う。歴史や文化を次の世代に継承していくことが大切であり、子どもたちが歴史や文化に触れることにより、その生き方を豊かなものにしていくことが期待される。文化財は保存することが目的ではなく、それらが日々の暮らしの中に生かされることが求められると思う。そのために保存し、継承し、活用することが必要となるであろう。計画が着実に進められることを期待したい。

おわりに

宮津市の取り組みを見ていると、子どもたちが探究などの取り組みにより、「おしごとマガジン」を発行するなど新たな挑戦を行い、学校の校長や教員が主体的な研修に積極的に取り組み、挑戦を行い、そして教育委員会が高校・大学・地域連携推進事業に取り組む、市の教育行政の枠組みを超える挑戦を行っていると思う。市全体で新たな挑戦に取り組む活気を感じることができる。ますますの発展を祈りたい。